
就活であった面接の話

4 & 4 K

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

就活であった面接の話

【著者名】

Z8605E

【作者名】

4&4K

【あらすじ】

僕が就活中に実際に体験した面接のお話です。どうぞ馬鹿にしながら読んでください。

(前書き)

むしゃくしゃして書いた。今は改めてこの。

企業によつては、ときどき突飛な質問を出してくる所がある。

大抵はその人の志望動機、自己PR、企業に対する質問といった、予め予測しやすい問題が多い。だが、イジワルな面接官なのかそれとも企業がそういう趣向なのかは定かではないが、ギャグじやないかと思える質問をしてくるところも本当にあるのだ。時には脱線したまま面接を終えることもある。……選考を忘れさせる話術は大切なものだと痛感する。

私は45分の個人面接で90分使って話し込んでしまい、なぜか人事の人に注意されたことがある。さすがにお互い様だと思ったのか、注意されたとき相手も笑顔だったが、質問事項が半分終わらなかつたと苦笑された。

ちなみに、その面接は通過できた。

「もしもあなたの家にドラ もんが来たとしたら、何の道具を使つてみたいですか？」

いきなり何を言い出すんだ、このおじさんは……！

圧迫面接（面接官がこちらを中傷するような発言や態度を取る面接方法）の次に受けた面接だったので、ビクビクしながら受けた面接の質問がこれだった。

その前に志望動機とアルバイト経験を聞かれたのだが、まさか表情一つ変えずにこの質問が来るのは思わなかつたので、私の意識は二次元に飛んだ。

しかしこの質問は、常々私が「あつたらいいな」と思つていたことだったので、おそらく誰よりも早く答えを導き出せたはずだ。

「『もしもボックス』です」

「……と、その道具で何をしたいですか？」

もしもボックスを知らないような雰囲気だった。

おそらく、面接官の中では『どこでもドア』や『タケコブター』といったメジャーなものが思い浮かんでいたはずだ。『もしもボックス』と答えた学生は、おそらく私だけなのだろう。

「もしも～だつたら、というとそれが本當になる機械なので、なんでもできます！」

落ちた。

集団面接にて、こんな人がいた。

「大学生活で、勉強以外で励んだことはなんですか？」

という質問に対し、堂々と「勉学です」と答えたW大の生徒。まあ、W大に行くくらいだ、相当頑張つたんだろう。……だが、ここは嘘でも部活なりアルバイトなり趣味なりにしておかないと、印象が悪いんじゃないだろうか。

彼は背筋をぴと伸ばし、優等生の雰囲気を前面に出して、

「私は、大学では勉学に専念しようと思っていたので、サークルにもアルバイトにも手を出しませんでした。大学では自発的に資格取得や勉学に取り組み（以下略）」

私は彼の履歴書を見ていないので、それが本当なのかはまったくわからないが、学生の見本のような回答をしていた。

しかし面接官の若い女性は、笑顔でその答えに対しても切り返していく。

「では、勉強のストレス発散方法はなんですか？」

今まで流暢だつたのに、彼は黙つた。

少しして歯切れ悪く、

「……目標があるつちは……勉強が苦痛とは思いませんでしたので……」

小さいころからスパルタ教育でも受けってきたのだろうか。

簡単に受け流せそうな質問なのに答えが思いつかなかつた彼を見て、私は真面目すぎるのも考え方だと思つた。

というか、W大の生徒がなんでここを受けるんだろう……知名度はあるけど、ここはブラック企業認定されているのに。

文系なのにIT企業を受けたこともある。

そこは離職者が少ないのが自慢らしいので、どんなに雰囲気のいい会社なのだろうと思って覗いてみたのだ。

説明会で先輩社員の男女（同じチームらしい）が、いろいろな質問に答えてくれている中で、こんな質問があつた。

「残業時間はどれくらいですか？」

正直に言おう。この質問をするのは結構勇気がいる。

誰もが気になるのだが、印象が悪くなる気がして避けているのが大半だ。

もつとも、卒業した先輩曰く、人事の言つことなんて半分は嘘だと思つていないと、入社したときに馬鹿を見る事になるので、信じてはいけないらしい。

ネットでも『残業はありません』残業と認めませんが働きなさいの法則が挙げられているし、私もバイト先で経費削減とか言つて残業代が出なくなつた社員の方々が苦労しているのを見ている（店は増え続けているのにね）。

さらに言えば、月休八日とか言つているアルバイト先の正社員募集要項だが、休みは週一日である。

うちには全部落ちたとき以外来るな、と元社員のおばさんから助言を貰つたくらいだ。

さて、残業時間について尋ねられた一人の社員だが、どうやら人

事の根回しが足りなかつたようである。

二人とも残業はある、と正直に答えてくれた。そこまではいい。

女性の方は笑顔で、

「私は八時には会社を出ますね」

というのに対し、男性の方は、

「忙しい時期ですと終電か、徹夜もありますよ。たまにですけど男女の雇用差はネットだけではなく、眞実のようだ。

そして別のＩＴ企業にも突撃した。

その会社は資料を配布したくせに、椅子だけで机がないという説明会を開いてくれた大変ありがたい会社である（大手）。

しかもアンケート記入とかふざけるなどといいたい。机出せ！ みんな四苦八苦して膝の上で腕を動かし、字がヨレヨレになっているのは仕方ないだろう。

バッグの中に入れっぱなしの『まぶ ほ』下敷きを使う勇気はさすがにない。

あまりやる気がなかつたのだが、性格適正や筆記試験になぜか通つてしまい、二次面接（実質三次選考）まできてしまつた私は、前のＩＴ企業で感じた男女の残業時間の違いを尋ねてみることにした。「うちは基本的に男女平等だよ」

と、人事の方は笑顔で答えた。だが……。

「でも、帰りが遅くなることがわかっている場合は、女性だけ帰すね」

……それって平等じゃなくないですか？ とつい口から出てしまつた私の言葉に、人事の方は言い難そうに苦笑する。

「いやあ……女性に問題が起きると、会社としてちょっと……いろいろ物騒だから」

言葉を濁したが、今がブームの『女尊男卑』の影響なのだろう。ニュースでも帰宅時間が遅くなつた男性が襲われるのと女性が襲われるの、どちらの扱いが大きいかと聞かれれば当然女性の方なわ

けで、責任追及もされるだろう。

思わず「じゃあ男性だったら問題起きてもいいんですね」と言つてしまいそうになつたが、寸前で飲み込んだ自分を褒めたい。私の女性不信度が2上がつた。

その選考は通過したが、四次面接（実質五次選考）で落ちた。

約二ヶ月の長い選考期間であつた。

三次面接にて、隣で面接をしていた女の子一人が泣いていたのが、とても怖かつた。

落ちた話ばかりだったので、内定を取れたお話。

私は趣味の欄に『イングランドプレミアリーグ観戦』と書いているのだが、社長がサッカー好きらしく、話が弾んだ。ちなみに私はリバプールファン。応援歌も歌える。「プレミアって言つたらあれか、……アブラモビッチ！」「チヘルシーのオーナーですね」

「カカ（ACミラン所属）が移籍するんだってね」

「え？ いや、初耳ですね……。しないと思いますよ」

「いや、でもニュースで見たよ。移籍金140億つて」

「いやいや！ カカは毎年移籍するつて騒がれますからしませんよ。去年一年もレアルと合意したとか騒がれましたけど、デマでした

し」

「そつかなあ。140億なら移籍すると思つけどなあ」

「今のミランがカカ手離したら田も当たられませんよ。ロナウジーニョとパトが五輪で取られていますからね」

そんな話で大半が潰れ、内定を貰つた。

豪華なソフトアートで座りにくいや、不思議！

面接を受けていて感じたことがある。

就職課の面接練習がまったく役に立たない」と、聞かれる質問はほとんど台本どおりの物だといふことだ。

しかし台本を逸れた質問をされたとき、どう返すかが選考に響いてくるのだ。

もつとも、あまり変な質問をされたことなんてないので、言葉に詰まることはほとんどなかつたのだが……。

ただ圧迫面接をされると開き直つて言いたい放題言いつてしまつ癖を、秋までに直そうと思つ。

(後書き)

『歴史書画を留めておけり』。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8605e/>

就活であった面接の話

2010年10月8日15時54分発行